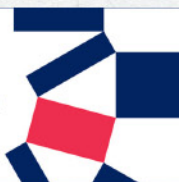


文化
オリンピック



越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能

伝統文化交流事業inゆとろぎ

おわら風の盆



「高水山獅子舞」(青梅市)

6月24日(土) 開場16:30開演17:00

羽村市生涯学習センターゆとろぎ大ホール

【全席指定】大人500円、小人100円(高校生以下)未就学児入場不可 ※保育有(有料6月16日(金)までにゆとろぎへ)

チケット購入者全員に富山県八尾の伝統工芸である八尾和紙を使った特製しおりをプレゼント!

お問い合わせ:羽村市生涯学習センターゆとろぎ ☎042-570-0707

プレイガイド:ゆとろぎ窓口・羽村市スポーツセンター・西多摩新聞チケットサービス・マルフジ6店舗

主催:羽村市・羽村市教育委員会 協力:富山県民謡越中八尾おわら保存会・高水山古式獅子舞保存会

伝統文化交流事業 in ゆとろぎ

富山県民謡 越中八尾おわら保存会

越中おわら節は、二百十日の風の厄日に風神を慰め、豊作を祈る踊りです。音の基調をなす三味線、哀愁の音色を奏でる胡弓、唄の調子を盛り上げる太鼓、あじわいの唄、そして粋で力強い男踊りと優雅な女踊りをお楽しみください。

保存会は昭和4年に発足して以来、江戸時代に始まり今日まで伝えられてきた唄、踊り、三味線、胡弓、太鼓、囃しなど地方(じかた)の総合的な伝統芸能である民謡「越中おわら」の保存と後継者の育成に努めています。

平成17年には法人格を取得し、将来にわたり日本を代表する伝統芸能の継承を目的に次の事業を行っています。

- 1 民謡「越中おわら」の継承と技量向上のための温習とその支援
- 2 民謡「越中おわら」の後継者の育成及び派遣に関する事業
- 3 民謡「越中おわら」の新しい歌詞の募集、選定
- 4 民謡「越中おわら」に関する資料の収集ならびに歴史等の調査、研究

※富山県民謡 越中八尾おわら保存会ホームページより



高水山古式獅子舞保存会(青梅市)

青梅市無形民俗文化財指定

高水山獅子舞は、江戸中期の明和5年(1768年)に奥多摩町大丹波の師匠を招き習い始め、寛政7年(1795年)に免許状とも言える「日本獅子舞之由来」と称する秘伝巻物が伝授され、以来、250年余りにわたり継承されてきました。昭和39年1月に高水山古式獅子舞保存会が設立され、昭和41年に青梅市の無形民俗文化財に指定をされました。毎年4月の第2日曜日に高水山にて開催されるお祭りで古式ゆかしい獅子舞が奉納されます。高水山獅子舞は3匹獅子舞で、演目は御幣懸、花懸、三拍子、竿懸、雌獅子隠し、太刀懸の6庭あります。役者は獅子狂い3人、ささら摺4人、笛吹、歌唄いで構成されており獅子頭は雄獅子の大太夫は黄金色、小太夫は黒色、雌獅子は朱色で、三つの獅子頭は日・月・星あるいは佛・法・僧を、花笠は牡丹または国を表すと言われ、国家太平・五穀豊穡・悪魔退散などを目的に舞います。特に太刀懸(別名 白刃の舞)は大太夫と小太夫が太刀使いの持つ刀を欲しがり、最後には太刀使いから刀を授けられ、お互いに喜び勇んで見せ合う舞で、真剣を用いる勇壮な舞です。

